

第3回 山形県スポーツウエルネス吹矢 女性ふれあい祭

～令和元年7月30日(火)～



『第3回山形県スポーツウエルネス吹矢女性ふれあい祭によせて』

令和の時代になって季節は春から夏に、早三ヶ月が過ぎようとしております。

夏めいてまいりましたが、皆様におかれましては日々研鑽に勤しんでこられたことと思います。

諸々の事情のため、開催期日、開催場所が変更になったにもかかわらず、多くの女性会員の方々の参加を見たことは本当に嬉しく思うところです。

さて、本協会・事業部が主管する2年に1回の開催となっている本事業ですが、今回は例年と違いボトムアップ型の事業になったのが大きな変化といえます。



事業部の女性サポートメンバーの結城宏子さん、齋藤ちふみさん、高山幸子さんの3人が実行委員会の中で意見を戦わせ、実施競技種目の選定・ルール決定。チーム編成。表彰方法。

昼食メニューの選定・会食方法。参加賞・商品の選定。「お楽しみタイム」の企画立案などなど、時間を割いてメンバーが集まりの場を自主的に開き準備にあたってられました。

これを事業部の方々、そしてボランティアの皆さんが全面的にバックアップするというもの。ある意味、女性による、女性のための事業実現に一歩近づいたものと思われまます。

次回は、事業部の女性メンバーだけでなく、この事業の趣旨に賛同する多くの女性会員の方々の応援・お手伝いも期待いたします。

新しい指針「磨こう！ 健効力 絆力 呼吸力」を合言葉に今日一日 楽しく 無事故で 本当に有意義な事業になることを みなさんの健闘とともに、お祈りいたしております。

山形県スポーツウエルネス吹矢協会

会長 

ちがいを認めて ひろがる輪

今回、女性ふれあい祭の開催にあたり、天池会長から「実行委員をはじめ女性3人が中心となり、女性のための大会実現に向け自由に考えて下さい」という助言をいただきました。

そこで、女性だけで話し合い、大会要項からチーム編成まで考え、チーム編成にあたっては申し込み順に6名から7名の6チームをランダムに選び当日発表としました。

参加賞・賞品も自分たちで選び、「女性の皆さんに喜んでもらいたい」と思いながらの準備でした。

競技では、団体戦1人3ラウンドで上位3名の合計で順位を決めるので試合中も和やかでそして盛り上がり、参加者からは楽しかったという声も頂きました。



☆セレモニー
・競技の様様



☆表彰式



午後からは、古池一子さん(元アナウンサー)を講師に迎え、「吹矢と私」という演題で講演をして頂きました。

古池さんは現在、吹矢3段と審判員を取得する実力者で、私たちと同じ仲間でもあります。

講演にも熱が入り楽しい時間となり、有意義な一日でした。

男性の方のボランティアスタッフとしての素晴らしい協力があったこそその大会でした。

また、来年もふれあい祭を続けてほしいとの声が多々ありました。

(女性サポート責任者 結城宏子)



* 古池一子さんによる講演 *